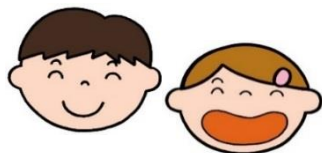


～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



# つむぐ

No. 79

令和7年8月7日発行

袋井市幼児教育センター

園では、季節を感じながら自然や身近な物に対して興味や関心をもち、試行錯誤しながら遊びを楽しんでいます。友達(異年齢児を含む)と一緒に遊ぶ中で、気付きや発見の伝え合い・面白さや楽しさを共有する姿・五感を働かせて環境と関わる姿がたくさん見られます。



小学校のプールで年長児と5年生が交流。

小プールで宝探し、大プールではウレタンの船に乗せてもらいました。お兄さん、お姉さんたちに優しく関わってもらうことで、園とは違う大きなプールでも安心して水遊びを楽しむことができました。



色水遊びからスライム遊びへ。  
混色の発見、できたスライムの感触や  
気持ちよさを味わいました。

「カマキリを見つけたよ。なんだか元  
気がないみたい。」「お腹がすいたの  
かな?」「何を食べるんだろう?」



「泡、泡になったよ。」「気持ちいいね。」「  
頭の上にも乗るかな?」できた泡を  
友達と見せ合い、全身に付けて楽しみ  
ました。

## 〈小学校の生活科「なつがやってきた」の単元〉

園での経験や「遊びを通した学び」が小学校での学習に生かされ、「授業の学び」へとつながっています。遊びに使う物(水鉄砲・的・大きなシャボン玉を作る用具など)を工夫して作ったり、みんなで遊び方を工夫したりしています。2学期も「いきものとなかよし」「たのしいあきいっぱい」などの活動が行われます。



幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。様々な体験を通し、健やかにたくましく育っていく子どもたちの様子を保護者をはじめ市民の皆様にお知らせいたします。

